

国際セミナー開催のご案内

高齢者のもつ運動機能障害—高齢期に生じる障害と障害者の高齢化—

企画・情報部企画課 国際協力室

高齢期に生じる障害と、障害がある人が年齢を重ねることによる身体機能やニーズの変化について国内外の専門家、障害当事者による発表と議論を行う国際セミナーを開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時：平成26年11月8日（土）13：00～17：30

会 場：国立障害者リハビリテーションセンター本館講堂（埼玉県所沢市並木4-1）

参加費：無料 使用言語：日英同時通訳有、要約筆記有

問合せ先：国立障害者リハビリテーションセンター 企画課国際協力室

TEL：04-2995-3100（内2148、2149） E-mail：whoclbc@rehab.go.jp

プ ロ グ ラ ム

13：00 開会挨拶 中村耕三 国立障害者リハビリテーションセンター総長

13：10～13：50 基調講演「障害と高齢化：WHOの見解と対応」
WHO西太平洋地域事務局テクニカルオフィサー Pauline Kleinitz

14：00～16：10 発表

1 「韓国における高齢化および関連する障害についての現状」

韓国国立リハビリテーションセンター長 Seong Jae Lee

2 「中国における高齢脳卒中患者のリハビリテーションの現状」

中国リハビリテーション研究センター神経リハビリテーション科医長 陳 立嘉

3 「高齢者におけるサルコペニア、フレイルの意義」

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授 荒井 秀典

4 「高齢者に生じる頸椎障害」

三井記念病院整形外科部長 星地重都司

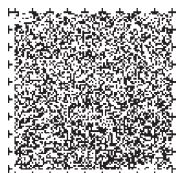
5 「脊髄損傷者の高齢期に於ける身体機能面と生活面の現状と問題」—介護制度の視点から課題を検証—
全国脊髄損傷者連合会 副代表理事、日本せきずい基金 理事長 大濱 眞

6 「健康維持からみた運動機能障害とその対応策」

国立障害者リハビリテーションセンター 障害者健康増進・スポーツ科学支援センター長 緒方 徹

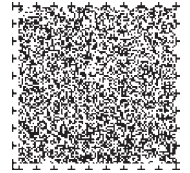
16：20～17：20 会場との質疑応答、ディスカッション

17：25 閉会挨拶 飯島 節 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局長



研究所オープンハウスを開催します

研究所



当研究所では、医学、工学、社会科学、義肢装具学など広範囲の分野の研究者が障害のある方の医療・福祉の向上と自立支援を目指し、研究を行っています。研究所における研究内容と成果を多くの方に知っていただくために、オープンハウス（研究所一般公開）を開催いたします。ぜひこの機会に障害者支援を目指した最先

端の研究に接してみてください。当日は、当研究所で開発された福祉機器の紹介や各部門の研究内容を紹介するパネル展示をご覧いただきながら、皆様と意見交換を行えることを楽しみにしております。（なお昨年度はリハ並木祭との同日開催でしたが、今年度は12月上旬平日の開催となります。）

- ◆日時 平成26年12月5日（金曜日）（10時～16時）
- ◆ところ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
- ◆内容 研究所が進めている研究について、パネル展示や開発・活用機器の紹介
- ◆参加費 無料
- ◆詳しくは今後下記URLをご覧ください。

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/2014openhouse.html>

◆展示内容（予定）

- 「心身機能の解明による回復・向上」の研究
 - 【運動機能・細胞機能】 ●高次脳機能障害研究の紹介（文処理・音声処理の脳メカニズム） ●ブレイン・マシン・インターフェイス（BMI）実用化研究 ●高次脳機能の客観的評価手法およびニューロフィードバック手法の開発 ●発達障害研究の紹介 ●視線と視点の訓練について
 - 【感覚機能・脳機能】 ●損傷脊髄の機能回復を目指した基礎研究 ●褥瘡のメカニズム解析と再発予防、遠隔地シテイングクリニック支援 ●（仮）脊損者の歩行機能回復を目指した研究 ●立位姿勢と歩行運動を支える神経システム ●網膜の変性と再生に関する研究 ●吃音の評価と治療への取り組み
- 「活動と社会参加を支える技術」の開発
 - 【日常生活・就労】 ●新しいコンセプトに基づく義手の開発 ●大切な情報を知らせてくれる生活支援ロボット ●予定と日付が分かる電子カレンダー ●住環境整備業務の体系化及び記録用紙の開発 ●高次脳機能障害者を支援するアプリ ●筋電で動く幼児向け筋電義手トレーニングシステム ●模擬筋電義手の体験・義手、義足の展示
 - 【安全・健康】 ●車いす搭載型うつ熱予防システム ●車いすクッションやおむつのぬれ消散機能の測定 ●義肢装具 ●座位保持装置の試験評価
 - 【移動・歩行】 ●電動車いすシミュレーター ●義足への荷重訓練支援システム
 - 【学習・情報取得・コミュニケーション】 ●難聴の病態解明と新しい原理の人工内耳の開発 ●盲ろう者支援のための触指文字用ロボットの開発 ●透明文字盤コミュニケーションにおける介護者支援ツール ●ロボットによるコミュニケーション能力の獲得支援 ●プリントディスアビリティへの支援に関する研究～多様な障害における電子図書活用～
 - 【機器等利用効果の評価・その他】 ●支援機器の臨床評価・障害者支援機器 ●評価機器のためのセンサ ●車いす利用者を模擬したダミーロボット
- 「生活を整える社会環境整備」の提案
 - 【サービス・制度・政策】 ●地域包括ケアシステム構築に関する研究（仮） ●義肢・装具・座位保持装置製作をめぐる価格と製作費用のはなし
 - 【生活・安全を支える社会環境】 ●国リハコレクション2014（ファッションショーと展示）の紹介 ●災害時要援護者支援のあり方に関する研究 ●障害者および支援者による災害時の排泄問題対策に関する研究

